

「熊高四五女子会・若花会」は、次のような主旨で立ち上げを始めています

一、熊本高校四五会卒業の多くの同窓女子に「会いたい」、「会う機会をつくる」、「女子が楽しく集まる、交流の場」を創っていく。卒業後の互いの話をしたり・聞いたりする穏やかな雰囲気の話を楽しみ、代表や幹事はおかず、世話人数名（地域ごと）で企画・運営を考えていく。

二、緩いつながりで、参加できるときに参加し、出入りも自由に。懇親会は参加しやすい形態と、リズミカルな会費で、昼間お茶会でも可能。居住先が広範囲なので、まずはメールのやりとりや、Zoomなどのオンライン開催などを考えています。

その後、各地での開催も検討課題で、旅行や温泉などを組み合わせて企画しその他も検討。

三、二〇二三年十二月、熊高四五会会長木村さん、事務局安藤さん、四五会副会長田尻さんと加藤がお会いし説明したところ「大いに女子会も、盛り上がりてください」とのことでした。

■入会のご案内

これから入会してみようと思われた方は、是非次にメール送信をお願いします。お待ちしています。

「熊高四五女子会」発起人 加藤祐子宛て宛先メールアドレス：

45joshi.mekakai@gmail.com

ご自身のメールアドレスとお名前をよろしくお願いします。 発起人 三年五室 加藤祐子（文責）

バルセロナ滞在記

私は大学卒業後東芝に就職し、超高压・超高電流（500000V・12000A）の開閉装置の駆動部の研究開発に五年間従事し、一九八二年二月に退社。同三月一日付で母校の熊本大学工学部教員として三〇歳の時に熊本にUターンしました。

大学では機械工学科に所属し、九州大学で工学博士の学位を取得して、一九九二年二月から十月まで十ヶ月スペインのバルセロナ・カタロニア工科大学の国際数値解析研究所（International Centre for Numerical Methods in Engineering, Politecnica de Catalunya, Espana）にVisiting Lecturerとして滞在。その研究所で当時最先端のパラレルコンピュータの最適化手法に取り組みしました。

メインの研究テーマとしては材料強度（金属、プラスチック、複合材料、生体材料）で機械構造物の最適設計評価、コンピュータ解析による材料創製、安全工学、信頼性工学および伝統技術継承における「ものづくり」支援教材開発等です。六十五歳で熊本大学を退職後同志社大学理工学部に移り七十歳まで四十年間教育研究に従事してきました。

ここではバルセロナのカタロニア工科大学（UPC）国際数値解析研究所に滞在で感じたことおよびトピックスをまとめてみました。

バルセロナ空港に着くと研究所の二人の秘書のお嬢さんに迎えられてアパートまで案内して



ていただきました。ここで一番驚いたことは招聘してくれた研究所の所長に行く前に「スペイン語は全くしゃべれませんが問題ありませんか？」と訪ねたところ返事は「No Problem!」とのことだったので安心して行つたのですが、さにあらず英語は大学の先生以外ほとんど通じないことがわかったことです。

第二日は銀行で口座を開くにも相手は英語がほとんど通じないため苦労しました。やっと口座が開けたと思ったら、次の日の朝に警察から電話です。最初はここからの電話かわらなかつたのですが切つて、大学に行つて研究室の学生に「電話が朝かかってきたけどこの電話かな？」と聞いたら「銀行口座を開いたかい？それは警察から居住確認の電話だと思ふよ」との返事。次の朝にまた電話があったので「Police」と聞いたら「Yes」との応え、その後名前と住所を伝えたら「Gracias」といわれ電話が切れました。これが滞在三日目。二週間ほど経つて、口座が出来たので通帳を取りに来るようになり連絡があったので、取りに行くことになったのは通帳と小切手帳、キャッシュカードは？と聞いたら、小切手帳があるのにキャッシュカードがなぜ必要かと言われました。そこで小切手帳は使用したことがないのでキャッシュカードが必要の旨伝えて一週間後にやっとカードをもらうことが出来て一安心しました。

先に書いたように街中ではカタラン語しか通じないことがわかつたので、一ヶ月ほど必死になって生活に必要なカタラン語とその使い方を勉強しました。最初に憶えなくてはならなかつたのは数字の読み方です。買い物は今ののようにレジに数字で示されるのではなく、すべて対面で、「これを何個、肉やハムなど切り置きたものはなく全てブロックですの厚み、枚数、グラム数を」伝えて切つてもらうのが普通で、かつ支払いも口伝えでしたので、日常生活には必須でした。会話に関しては、一番役にたつたのは日本語→スペイン語辞書ではなく英語→スペイン語辞書です。

日本語のものは多くの対象スペイン語の表記が出てくるので、それが最適な言葉なのかわかりにくいのですが、英語→スペイン語の辞書はこちらの意図した英語で引くとびつたしの言葉が出てくるのと、英作文の単語をスペイン語に置き換えるだけで容易に文章作成が出来ますし、相手に意思を伝えることが容易に出来ます。

スペイン語はほとんどがローマ字読みで英語やドイツ語と較べて発音は簡単です。例外は「j」は発音（な）（ja）、「ze」は（シ）、「zo、zu」は（ジョ、ジェ）、「j」は（ハ、ホ、フ）、と「r」が単語の頭にくる「r」の後に来るときは巻き舌で強く発音などです。ただし、カタラン語が標準のスペイン語と同じ綴りかそれに近いものはなんとなく意味は想像できるのですが、綴りが全く違うものもかなりあるので、それは憶えなくてはなりません。また、中性名詞、男性名詞、女性名詞、過去形が点過去、線過去、面過去と3種類、過去完了形

も加えてすべて活用が異なるので短期間にすべてを理解するのは困難です。また、主語は動詞の活用形で行くので省略され、これには苦労しました。時制に関しては、スペイン語での会話では現在形のみを使用し、過去のことを言う場合には過去を表す単語、前に、昨日などを添え、未来を表す場合には明日、一週間後などを添えて話すことで乗り切りました。

それでは、バルセロナのトピックスに移ります。スペインは存じのように十四時～十六時までシエスタを兼ねたランチタイムでレストラン以外のお店はほとんど全て閉まります。

他の国のように居るを食べるという買い物とはいきません。夜はレストランが開くのは通常二十二時で軽食のバルはお昼休みはありません。軽食はいつでもバルで食べることが出来ます。公務員の勤務時間は八時～十四時で全ての窓口は午後二時で客が居ようと構いなしにクローズです。普通の店はデパートも含め十六時～十七時に再び営業を開始します。

大学は八時から十四時まで講義で十四時から十六時まで昼食を食べ、午後八時からいまで講義となつています。研究所に居る学生はすっかり夜遅くまで研究し、土日には皆レジャーに出かけ月曜の午前中は週末にどこに行つたとの話で花が咲きます。よく勉強しますが、よく遊びもします。メリハリがはっきりしています。またカタロニアの人は陽気で、お祭りが大好きです。

四月にはセマサタ写真①でサンタ週間です。写真のようにイースターの時期には、バルセロナでさまざまな宗教的儀式や行進が行われます。この期間に市内にいて、これらに少しづれかに参加したい場合は、最寄りの教会で情報を得るのがベストです。ほとんどの教会には、開催されるイベントの詳細が表示された案内板が設置してあります。いくつかの大きな教会や大聖堂では、聖歌隊によるミサが行われ、行列はその場所まで終わります。バルセロナの大聖堂はランブラス通りの頂上近くにありま



写真① セマサタ

五月にはバラと本の日（Rose-Libros）男性が女性にバラの花を贈り、お返しに女性が男性に本を送る（この日は街中がバラの花売りで多くの店が本屋に変わります。大きな赤いバラの花束を持った男性が颯爽と歩いての姿を多く見かけました。六月には葉草と蜂蜜の日がおりまえます。草と蜂蜜を入れた大きな瓶を持った修道女が量り売りをして賑わいます。果物の蜂蜜漬けも売っています。非常に美味しいです。また、九月になるとバカシオネス（夏休み暇）スペインでは夏に一ヶ月休暇を取ることが法律で義務づけられています。開けのフェスタが夜十時くらいか

ら駅前広場周辺の通りを通行止めにしてテンプル・椅子を列べて野外レストランを設置し、通りごとに生バンド演奏とその周りではダンスパーティー、広場にはわくわく作りのメリーゴーランドや遊戯施設が設置され大人も子供も大はしゃぎで食べ呑んで大騒ぎです。これは夜中まで一週間ほど続きます。最大のトピックスは七月半ばから始まったオリンピックです。私がバルセロナに着いた時はどこもオリンピックの準備で至る所が工事中、今は近代的な素敵なバルセロナ港ですが、当時は古い倉庫が建ち並ぶ薄暗い治安の悪い場所でした。メイン会場のモジユイクの丘に行くエスカレーターは前日まで芝張り等で工事をしていました。始まって未完成の会場も多々ありました。文字通り、どこにかなるさ、のんびりしたラテン特有のお国柄です。すぐやると言つても一週間程度かかるのはザラです。大学の研究室の鍵の複製を頼んでも明日、明日と引き延ばされ、鍵がないと研究室に自由に入れないので、結局鍵を借り自分で鍵屋に行つて作らざるを得ませんでした。



写真② 五輪会場広場のカタロニア音楽堂



写真④ 日本-USA バレーボール予選



写真③ 海水浴を楽しんでいる選手村のあるバルセロナ海岸



写真⑤ 男子マラソン

写真④は「日本-USA」の予選試合です。見ていた当日は日本が負けの判定でしたが、USA選手の反則があり、翌日日本の勝利となり、USAの全選手が丸坊主になって抗議したといういわく付きの試合風景です。

写真⑤はオリンピックのメインの男子マラソン競技模様でゴールのモジユイクの丘に登る前で森下選手が韓国選手と競っている場面です。結果は二位でゴール。谷口選手はこけちゃいました。で八位でした。